

## NEWS RELEASE

日本板硝子株式会社  
2020年2月5日

### 高透過ガラス「オプティホワイト®」をアーティゾン美術館が採用

日本板硝子株式会社(東京都港区、代表執行役社長兼CEO森 重樹、以下NSG)は、2020年1月18日にオープンした『アーティゾン美術館』(旧ブリヂストン美術館：東京都中央区京橋)の1階エントランスに、NSGの高透過ガラス「オプティホワイト®」が採用されましたのでお知らせします。

アーティゾン美術館は、公益財団法人石橋財団が、運営する美術館です。昨年7月に竣工した「ミュージアムタワー京橋」の低層階に位置し、館名変更を経て、1月18日に新しい美術館として開館したばかりです。

同美術館の1階エントランスには、高さ7mを超える大型の高透過ガラス「オプティホワイト®」が使われており、印象的で美しい建物の外観を演出。高い透過性を生かし、自然光を室内に取り込むと共に、開放感あふれる1階から2階の吹き抜け空間の様子を外部から見るができます。また、この部分の大型ガラス9枚は電動回転扉となっており、扉を開けることで外部と内部をつなぐオープンなスペースになります。



「オプティホワイト®」は、鉄分の含有量を減らし、透明度を高めたガラスです。一般的なフロートガラスと比較して、「オプティホワイト®」はきわめて透明で、内部空間と外部空間の一体感を高める視覚効果があり、周囲と調和した空間演出に貢献します。



(左)フロートガラス  
(右)オプティホワイト®

日本板硝子株式会社 (NSG グループ) は、建築用・自動車用ガラスおよび高機能ガラス製品の分野における主要メーカーです。1918年に創業し、グループ従業員数は約27,000人。世界各地に主要な製造拠点をもち、100カ国以上で製品の販売を行っています。<https://www.nsg.co.jp>

<お問い合わせ>  
広報部：03-5443-9477